

平成31年度修士課程（一般選抜・春期試験）問題 目次

専門試験		ページ
文化動態論	共生文明論	—
	アート・メディア論	2～4
	文学環境論	5～6
	言語生態論	7～9

平成 31 (2019) 年度  
大阪大学大学院文学研究科 (修士課程／一般選抜・春期試験) 入学者選抜試験問題  
文化動態論専攻 アート・メディア論コース 筆記試験

[問題用紙が 1 枚、別紙が 2 枚あります]

(1 枚目／3 枚中)

問 1 次に挙げる 8 つの用語もしくは固有名詞のなかから自由に 5 つを選び、それぞれを 5 行程度の日本語で説明しなさい。

- |              |                |
|--------------|----------------|
| (1) スター・システム | (2) ヴィム・ヴェンダース |
| (3) 倉俣史朗     | (4) Art Basel  |
| (5) 市川團十郎    | (6) フィジカル・シアター |
| (7) 辰野金吾     | (8) 帝冠様式       |

問 2 次に挙げる 4 つの設問 A～D の内から自由に 2 つを選び、日本語で解答しなさい。

A. 別紙 1、2 の写真 (①：三菱一号館、②KITTE (旧東京中央郵便局)、③国際子ども図書館 (旧帝国図書館)) を見て、以下の問いに答えなさい。

1: それぞれの建物の建築様式・スタイルの特徴を簡潔に記述しなさい。

2: ①と②と③を比較し、歴史的建造物の保存・再利用に対する三者のアプローチの違いをまとめ、その背景にある思想・文化について考察を加えなさい。

B. 現代演劇では、いわゆる多言語演劇 (2 言語以上の言語を使って行う演劇) が数多く見られます。

この多言語演劇が盛んになっている今日的な背景、状況などを踏まえながら、その現代演劇における意義について論じなさい。

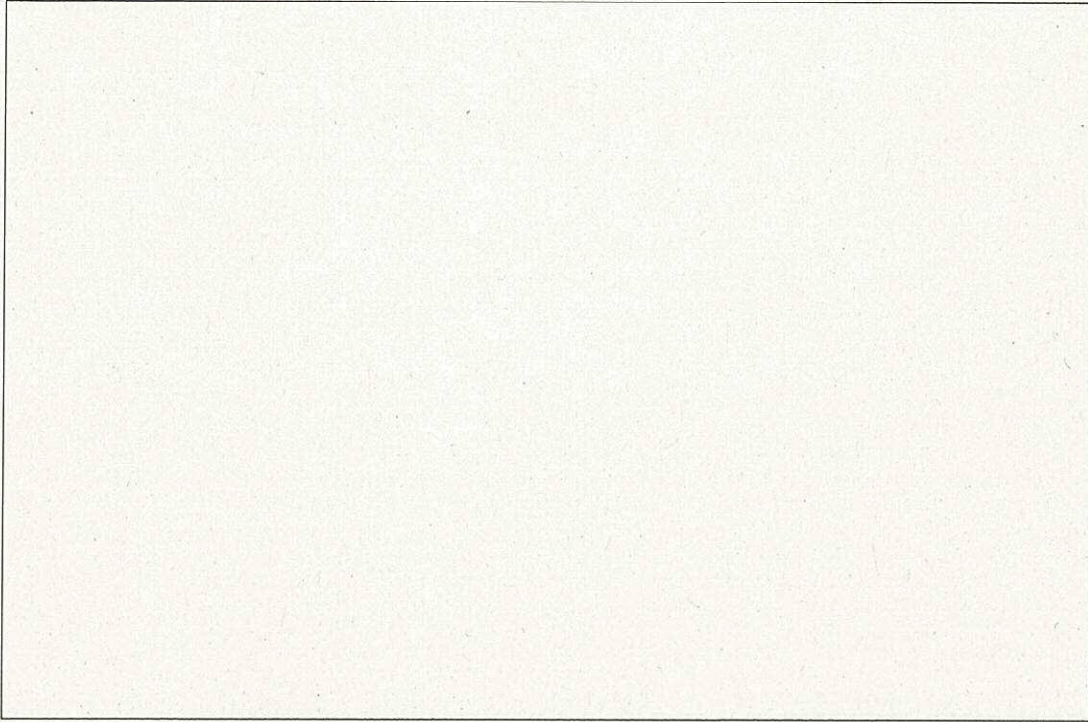
C. 近年、国内外の各地で盛んに開催されるようになった芸術祭(ビエンナーレ、トリエンナーレなどを含む)の意義と問題点について詳述しなさい。

D. 上演芸術や映画などの領域で問題とされる「文化の盗用」「ホワイトウォッシング」について説明し背景を述べよ。

(2 枚目 / 3 枚中)

■別紙 1

①三菱一号館：



出典：[https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/9/93/Mitsubishi\\_Ichigokan\\_Museum.JPG](https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/9/93/Mitsubishi_Ichigokan_Museum.JPG)

② KITTE (旧東京中央郵便局)

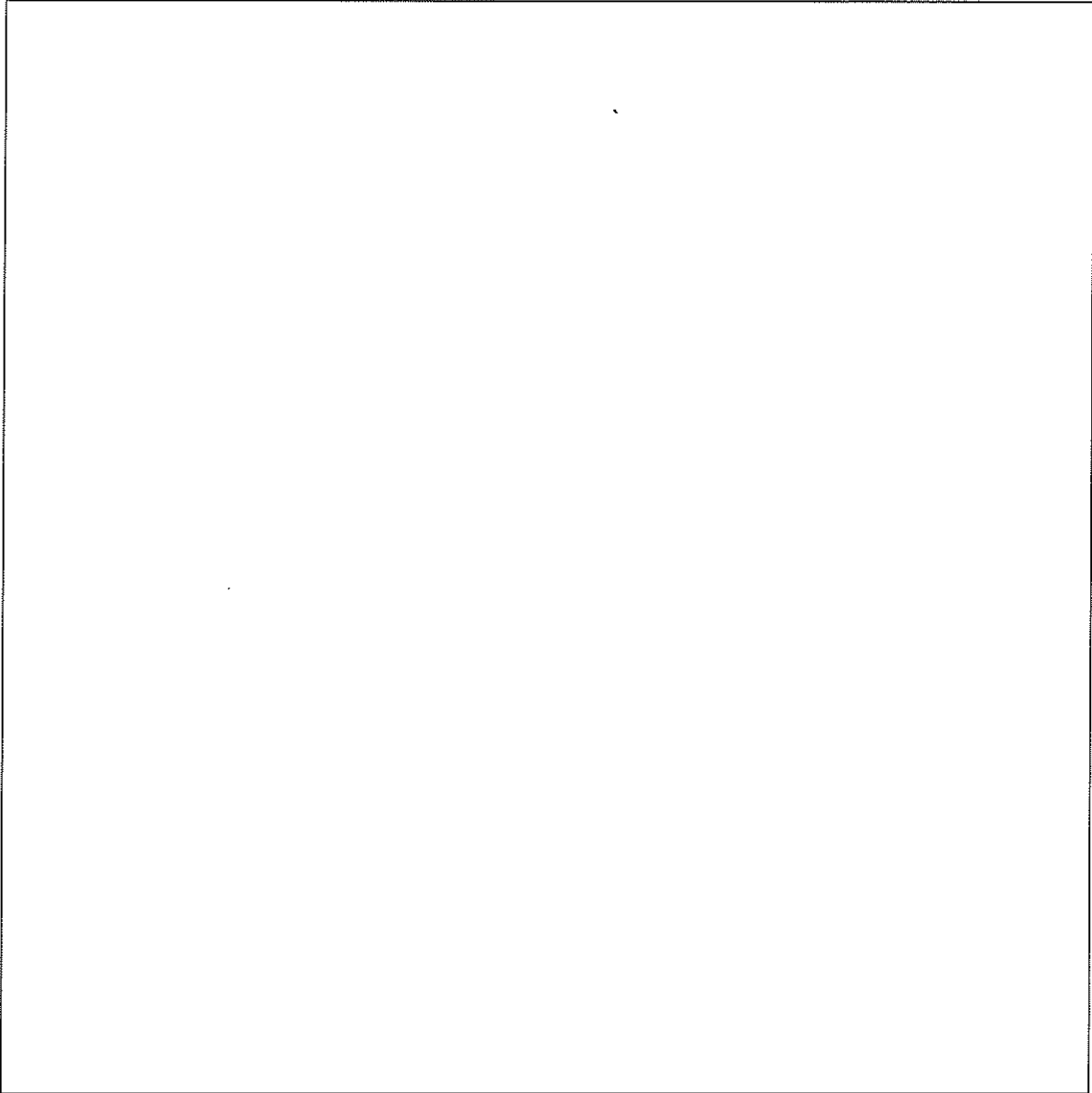


2017 年 6 月 撮影

(3 枚目 / 3 枚中)

■別紙 2

③国際子ども図書館 (旧帝国図書館)



出典：

[https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/1/1c/International\\_Library\\_of\\_Children%27s\\_Literature.jpg](https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/1/1c/International_Library_of_Children%27s_Literature.jpg)

平成31(2019)年度  
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/一般選抜・春期試験)入学者選抜試験問題  
文化動態論専攻 文学環境論コース 筆記試験

[問題用紙は **2** 枚です。]  
(1枚目/**2**枚中)

I 次の英文を読み、後の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下のとおりです。

出典: Ed. Patricia Waugh, *Literary Theory and Criticism: An Oxford Guide*  
(Oxford UP, 2006, p. 540, l. 26 – p. 541, l. 23)

- (イ) 括弧「 」内を日本語に訳しなさい。
- (ロ) 下線部 “practice” がどのような「実践」であるか、本文に即して説明しなさい。
- (ハ) 本文で述べられている Romanticism 的な捉え方以外に、文学は「自然」をどのように捉えてきたか。具体例を挙げながら説明しなさい。

Ⅱ 次の文章は、川端康成掌の小説に収められた「化粧」(初出『文藝春秋』一九三二年四月号)と題するテキストの全文です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお出典は次の通りです。  
川端康成掌の小説(一九八九年、新潮文庫)三八三～三八五頁。

- (イ) 傍線A「二つの扉の間の空地」が物語の中でどのような意味を持っているか、論じなさい。  
(ロ) 傍線B「その窓が私に植えつけた女への悪意」とは何か、説明しなさい。



平成31(2019)年度  
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/一般選抜・春期試験)入学者選抜試験問題  
文化動態論専攻 言語生態論コース 筆記試験

[問題用紙は3枚です。]  
(1枚目/3枚中)

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。解答は日本語で行うこと。

I. 次の英文を読み、以下の設問に答えなさい。

著作権に配慮して、本文は削除します。なお、出典は以下の通りです。

[出典: Ježek, Elisabetta (2016) *The Lexicon: An Introduction*. Oxford: Oxford University Press.  
14頁20行目~15頁24行目]

問1 下線部(1)の function words と下線部(2)の content words という2種類の語を区別する特徴を本文に即して4点に分けて説明しなさい。

問2 下線部(3)を日本語に訳しなさい。

問3 本文の内容に関して、あなたの考えるところを述べなさい。

II. 次の項目の中から5つ選んで説明しなさい。

1. Definiteness effect (定性効果)
2. Unaccusative verb (非対格動詞)
3. Semantic bleaching (意味の希薄化)
4. Maxim of quantity (量の公理)
5. Suprasegmental phoneme
6. World Englishes
7. 慣用句
8. いろは歌
9. 二重主語文
10. 子音と母音

III. 次の設問 (A)、(B)、(C) のうちいずれか1つを選び、答えなさい。

(A) 音変化は規則的なものだが、その反例がしばしば生じる。それはなぜか、あなたが知っている言語を例にして考えを記しなさい。

(B) 日本語の「みられる」と「みれる」(見ることができる)、「けんきゅうしょ」と「けんきゅうじょ」(研究所)のように、「ゆれ」が観察されることばがある。これらのゆれは、どのような要因によって生じ、また社会の中でどのように評価されているか。上の例以外の例をあげ、考えられるところを述べなさい。なお、例は、日本語を含め、どの言語のものでもよい。

(C) 次の(1a)~(1c)は表面上すべて同じ構文に見える。

- (1) a. I want the doctor to examine Mary.
- b. I believe the doctor to have examined Mary.
- c. I forced the doctor to examine Mary.

しかし以下の(2)~(6)に見られるように、詳しく調べてみると各々の動詞が違った振る舞いを示すことが分かる。これらの違いを利用して、(1a)~(1c)の内部構造がそれぞれどのようなになっているかを述べなさい。

- (2) a. \*The doctor was wanted to examine Mary.
- b. The doctor was believed to have examined Mary.
- c. The doctor was forced to examine Mary.
- (3) a. John wanted there to be an emergency telephone in front of him.
- b. John believed there to be an emergency telephone in front of him.
- c. \*John forced there to be an emergency telephone in front of him.
- (4) a. \*John wanted himself to be a genius.
- b. John believed himself to be a genius.
- c. John forced himself to tell her the truth.



(3枚目 / 3枚中)

- (5) a. John wanted very much for the doctor to examine Mary.  
b. \*John believed truly for Bill to be a genius.  
c. \*John forced strongly for the doctor to examine Mary.
- (6) a. I want Mary to be examined by the doctor.  
b. I believe Mary to be examined by the doctor.  
c. I forced Mary to be examined by the doctor.

[出典：有村兼彬 ほか (1999) 『英語学へのファーストステップ —英語構文論入門—』  
東京：英宝社. 29 頁～33 頁. 表記を一部改変]

IV. これまであなたはどのような研究をしてきたか、またそれをふまえて、今後はどのような研究をするつもりか、具体的に記しなさい。